

コスモス

COSMOS GAKUEN

社 会 福 祉 法 人
足 柄 緑 の 会

編集・発行／コスモス学園

発行日／令和6年9月30日

URL: <https://www.n-csm.jp>

コスモス学園中沼ジョブセンター

コスモス学園中沼ケアセンター

コスモス学園松田センター

コスモスホーム

居宅介護事業所それいゆ

相談支援事業所あすなろ



— 特集 —

- ◆ 総合施設長 川端 慎 「支援・サービス提供」
- ◆ 令和5年度 理事会・評議員会 決議事項報告
- ◆ 中沼ケアセンター車輛買替、外壁塗装 /
コスモス学園祭のおしらせ / 職員研修

- ◆ 令和6年度上半期 各事業所ニュース
- ◆ 令和5年度 事業報告・決算報告
- ◆ 新利用者紹介 / 新職員の紹介
/ あのひとこんなひと / 善意



支援・サービス提供



総合施設長

川端 慎

日頃より、関係各位の方々からの暖かいご理解、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

私がこの福祉の世界に足を踏み入れたのが、平成5年4月です。この年は現在の天皇・皇后様ご成婚で日本中歓迎ムードであったことを思い出します。

福祉の世界では、時を同じくして「障害者基本法」が改正されたことも記憶しています。その後、平成15年「支援費制度」の導入、平成18年「障害者自立支援法」の施行、同年「障害者権利条約」の採択、平成23年「障害者基本法」の改正、同年「障害者虐待防止法」の施行、平成25年「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の施行、同年「障害者差別解消法」の施行など様々な改革がおこなわれてきました。

特に、平成28年社会福祉法人制度改革時、法人、事業所として対応に追われたことが強く印象に残っています。

この約30年、様々なことが進み、様々なことが変化しました。しかし私達がすべきことは、利用される方の支援、サービスの提供であることは変わっていません。

聖徳太子が制定した十七条憲法の第一条に出てくる「和を以て貴しとなす」という言葉があります。何をすることもみんな仲良く争わないのが良い。そしてしっかりと議論しなさい。私はこの言葉がお気に入りです。これを実践することで支援者としての質、相手の気持ちを考える力の向上が図られ、より良いサービス提供がチームとして構築されると考えています。

この数年間、新型コロナウイルス感染症の感染対策にすべての法人、事業所が力を注いできました。その間、全体行事の中止、縮小、制限のあるプログラム設定、生活などを強いられました。令和5年度になり、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に分類され、ようやく日本全体が通常の状況を取り戻し始め、当法人でも様々なことが再開できるようになってきました。コロナ禍の間、皆さまのご理解ご協力で感謝申し上げます。

今後も法人、各事業所が一丸となり、より良いサービスが提供できるよう努力していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年度 理事会・評議員会 決議事項報告

(1) 理事会

令和5年度第1回理事会 令和5年5月30日(火)

- 第1号議案 令和4年度事業報告の承認の件
- 第2号議案 令和4年度計算書類等の承認の件
- 第3号議案 定時評議員会の招集の件
- 第4号議案 理事選任候補者の推薦の提案の件
- 第5号議案 監事選任候補者の推薦の提案の件
- 第6号議案 福祉車両の無償譲受の件

令和5年度第2回理事会 令和5年6月29日(木)

- 第1号議案 理事長の選定の件

令和5年度第3回理事会 令和5年7月25日(火)

- 第1号議案 評議員選任・解任委員の変更の件
- 第2号議案 第三者委員の変更の件

令和5年度第4回理事会 令和5年9月22日(金)

- 第1号議案 コスモス学園松田センターの車両買替の件
- 第2号議案 日中一時支援事業運営規程の変更の件
- 第3号議案 令和5年度資金運用計画の変更の件

令和5年度第5回理事会 令和5年11月22日(水)

- 第1号議案 給与規程及びキャリアパスの変更の件
- 第2号議案 無期転換職員就業規則の変更の件
- 第3号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
- 第4号議案 人事考課規程の変更の件
- 第5号議案 土地購入の件
- 第6号議案 令和5年度第2回評議員会の招集の件

令和5年度第6回理事会 令和6年1月30日(火)

- 第1号議案 令和5年度第1次補正予算承認の件
- 第2号議案 生活介護事業所の運営規程の変更の件
- 第3号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター就労移行支援の廃止の件
- 第4号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター就労継続支援B型の運営規程の変更の件
- 第5号議案 役員等賠償責任保険契約の件

令和5年度第7回理事会 令和6年3月21日(木)

- 第1号議案 令和6年度事業計画承認の件
- 第2号議案 令和6年度予算承認の件
- 第3号議案 令和6年度資金運用計画承認の件
- 第4号議案 コスモス学園中沼ケアセンターの外壁改修工事の件
- 第5号議案 給与規程の変更の件
- 第6号議案 無期転換職員就業規則の変更の件
- 第7号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
- 第8号議案 慶弔見舞金規程の変更の件
- 第9号議案 定款変更の件

(2) 評議員会

定時評議員会 令和5年6月28日(水)

- 第1号議案 令和4年度計算書類等の承認の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 第3号議案 監事選任の件

令和5年度第2回評議員会 令和5年12月29日(木)

- 第1号議案 土地購入の件

理事長	関野 純一		
理事	林 淳	齋能 通	宮坂 信章
	川端 慎	小田島 明	
監事	加藤 正晃	関 正明	
評議員	鍵和田 茂	鍵和田 功	玉川 善弘
	廣田 勝紀	赤沼 洋	浅沼 賢史
	晝場 浩司		

中沼ケアセンターより

これまでご家族から寄贈していただいたアイシスを送迎に使用していましたが、アイシスと入れ替えて4月の下旬にシエンタが納車されました。

利用者さんから「私も乗りたい。」という話がありましたので、送迎だけでなく外出時にも使用しております。事故のないよう安全運転を心掛け、長く乗り続けられるようにしていきます。



また、外壁塗装ですが、6月上旬に足場が撤去され新しい壁がお目見えしました。足場がある期間は中庭が狭くなり送迎の時などに利用者さんにご迷惑をおかけしましたが、塗装が全て終わり、足場が取り外され外壁が見えるようになると「きれいになった！」などの感想をいただいています。職員もできる範囲でメンテナンスをすることできれいな状態を維持できるようにしたいと考えております。

第27回コスモス学園祭開催のお知らせ

6年ぶりに一般公開の学園祭を開催いたします。

学園の活動内容や様子を知っていただくとともに、地域交流をはじめ多くの方々と親交を深める場として、いろいろな企画をご用意しております。たくさんの方々のご来場を心よりお待ちしております。

記

日時 令和6年10月12日(土) 雨天決行
午前10時30分～午後3時00分

場所 コスモス学園中沼ケアセンター
南足柄市中沼831-1

電のまねステージあります
ものまねアーティスト

桃原敬之、山崎まさよし他、
レパートリー多数！

あべたけしさん

ミスチルのものまね

Mr.にこじやさん

— お問い合わせ —
コスモス学園実行委員会

☎ 0465 (72) 0880

法人職員研修

6月7日(金)に職員研修を実施しました。今回の研修は2部構成で行い、前半に防犯研修として「不審者の対応について」松田警察署生活安全課巡査部長の赤嶺さんに講師をお願いし、後半は交通安全研修として「事故を起こさないためについて」松田警察署交通課警部補の泉谷さんに講師をお願いいたしました。

防犯研修では、不審者から利用者・職員の安全を守るための5つの行動を学びました。

- ① 不審者を侵入させない仕組み
(環境づくり)
- ② 不審者が施設に入ってしまったら、
発見するしくみ
- ③ 声掛けをする
- ④ 周囲に知らせる(職員間・近隣)
- ⑤ 1人ではなく全員で対応する

など、場面に合った行動を明確にすることができました。

実際に防犯研修の後半ではロールプレイを行い、不審者が施設に侵入してしまった場合の対応をしました。講師の赤嶺さんからは、不審者を施設に入れないこと、入ってしまったら全員で対応することが重要だとお話がありました。



交通安全研修では、神奈川県内、足柄上郡の事故発生率や事故が起きやすい場所の説明を聞きました。事故発生率だと開成町吉田島の交差点が足柄上郡の中では2番目に多いことに驚きました。

研修の後半では、DVDで交通事故の映像を見ました。身勝手な運転や判断ミスでの事故が多くあり、改めて安全運転で利用者さんの命を預かって送迎をしていることは大事な業務だと感じました。



職員から夕方の運転で注意する点や免許の返納など、様々な質問があり、安全運転に対する意識が高くなりました。

意識が低下しないように定期的に研修を継続したいと思いました。



各事業所の ニュース

中沼ジョブセンター

今年度は新たに1名の新利用者を迎え、B型59名、日中一時4名の計63名でスタートしました。

作業面では、施設外就労で4年ぶりにチケットパークの草取り作業が復活しました。毎月1〜2回利用者4名と小田原市内や南足柄市内のパークをきれいに整えています。作業が終わるとゴミ袋いっぱいに入った雑草を持ち帰り、「がんばってきたよ！」と達成感に満ち溢れた表情で学園に帰ってきます。



そして、今年新たな取り組みとして階段の壁に、毎月その季節に合った壁面作品を掲示しています。

利用者さんたちのセンスで毎回想像以上の素敵な作品が完成します。廊下がと

ても賑やかになってきました。あと半年どのような壁面が完成するか楽しみです。



行事では、7月19日に納涼大会を午後から開催しました。ゲーム店舗では毎年恒例の射的とキャラクターすくい、食店舗ではポップコーン、綿菓子、焼きそば、そして新たな試みとしてソフトクリームが登場しました。自分の番になると、利用者がマシンのボタンを押して、ソフトクリームを作るのを体験してもらいました。今年も中沼福祉会と岡本地区民生委員の方々がボランティアに来てくれました。利用者みなさんもボランティアの方と一緒に店舗のお手伝いに参加し交流を深めました。

また、設備面として1階と2階のトイレのドアとパーテーションが老朽化していたため、このたび鮮やかなピンクと青のドアとパーテーションに変わりました。

清掃班も今のきれいな状態が保てるように日々頑張つて掃除してくれています。



中沼ケアセンター

7月19日に納涼大会を開催しました。午前はアクアリウム作り、午後はゲーム大会とおやつタイムという内容でした。

アクアリウム作りでは、ビンの中にビーズや魚やタコなどの海の生き物のフィギュアを入れて一人ひとりの小さな海を作りました。スプーン

を使って、丁寧にビーズを入れる利用者さんもしれば手で掴んで豪快に入れる方もいてそれぞれの性格が出た作品ができたと思います。

この時作成したアクアリウムは、既に利用者さんにお渡ししておりますので家に飾っていたけると幸いです。

午後のゲーム大会は昆虫採集とおかしすくいをしました。職員お手製の木におちちのクワガタやカブトムシがいて、当たりの昆虫を見つけると豪華景品が当たるというゲームでした。普段昆虫に触る機会がないためか、おちちの昆虫でもおっかなびっくり取る利用者さんが何名かいました。また、当たりを見つけた方はガッツポーズ

をして景品を選ぶうれしそうに笑顔をみせてくれました。



おやつタイムではおやつすくいゲームで取ったお菓子や、職員の手作り焼きたてアイスなどを食べました。職員とワイワイしながら皆さん嬉しそうに召し上がり、今年の納涼大会を締めくくりました。



8月にはスィカ割り大会を行いました。ご家族の方からスィカを提供していただくことで、夏の恒例行事となっております。今年のスィカはとて大きく10キロ以上もありました。利用者さんが順番にスィカを叩くことで少しずつ割れ目が入り、最後にはほぼ真二つに割れました。スィカはとて甘くて皆さん「おいしい」と言いながら食べていました。



7月下旬から8月上旬にかけてコロナ陽性者が出た際には利用者ならびにご家族の皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。今後も検温、換気、消毒など、感染予防を続けていきますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

松田センター

7月19日に納涼大会を開催しました。今年度も生活介護、就労継続支援B型に分かれての開催となりました。

就労継続支援B型は、午前中に職員と利用者さんが一緒になってりんごケーキを作りました。ご自宅でお手伝いをされている方は慣れた手つきでりんごを切ったり卵を割ったりして下さいました。皆さんケーキが上手に焼きあがるのかドキドキしながらビンゴ大会へと移っていきまし



午後は射的、輪投げ、ダーツ、ヨーヨー釣りなど縁日をイメージした催しをしました。昨年と同様にお店側、お客様に分かれて行い、お店側の人は張り切って「いらっしゃい！いらっしゃい！」と大きな声で呼び込みをされ店員さんになりきっていました。



射的では真剣な眼差しでお目当てのお菓子を狙い、ゲットされると笑顔が溢れていました。なぜか位置を変えても特定のお菓子ばかり当たるといって、不思議な事がありました。

生活介護は、午前はかき氷作り、午後は魚釣り、輪投げ、射的、缶バッチ製作を行いました。かき氷作りでは、かき氷機を回せる方には自分で作ってもらい、シロップを何種類もかけたり皆さん思い思いのオリジナルかき氷を食べていました。食べた後の色のついた舌を見せて笑い合ったり楽しそうに過ごされていました。

午後の魚釣りでは、好きなお菓子を吊り上げようと皆さん夢中になり、もう少しで吊り上がりそうなお菓子が落ちてしまつと笑いが起きていました。



今年初めての行事でしたが、自分達で装飾品を作ったり、飾りつけをしたりと、準備をして楽しみにされていました。

毎年繰り返し行われている行事ですが、今後その年その年の思い出に残るような納涼大会にしていけたらと考えております。

コスモスホーム

今年の前期では猛暑や地震、台風などに加え、未だ落ち着くことのないコロナウイルスやインフルエンザなど少し危うい事象が多かったように感じましたが、皆様は大丈夫だったでしょうか。お身体や環境に変わりはありませんでしょうか。災害や流行り病に気をつける年中、コスモスホームでは予定していた行事が中止や縮小になることもありましたが、例年どおり参加できた行事を紹介していきます。

6月には、開成町で行われているあじさい祭りに見に行きました。午前と午後に分かれての参加となり、当日は天候に恵まれ雨は降らなかったものの来訪者が多かったため、車の中からの鑑賞となりました。きれいなあじさいが並んで咲いており、みなさんお話をしながら鑑賞し、久々のドライブを楽しんでいました。



同月、美化活動では地域の方々と協力し、主に草むしりを行いました。地域の方々との交流ということもあり最初は少し緊張気味な様子も見られましたが、一緒に回っていくうちに笑顔も増えていきました。地域の方々と一生懸命草むしりに取り組み地域の美化という目標に大きく貢献してくれました。



7月7日には、ひだまり棟の玄関前に笹を設置し、利用者・職員共に短冊に願い事を書き飾りました。たくさんの方々の短冊が集まりとても華やかになりました。



8月は、続く猛暑の中、少しでも涼もうということで希望者を集め、かき氷作りを行いました。各利用者さん自身で氷を削り、トッピングにはかき氷シロップの他にバナナアイス、練乳を用意し、それぞれ好みでカスタマイズをされ、美味しそうに食べていました。

これからも徐々に行事が復活していくと思われませんが、健康面を注意しつつ楽しんでいこうと思います。

令和5年度 社会福祉法人足柄緑の会 事業報告

1. 概況

(1) 新型コロナウイルスの状況

前年度より減少したものの、勤務体制に支障が生じる例も発生した。感染症対策は継続した。

(2) 行事

今年度も各種行事は事業所ごとに実施した。就労系のバス研修旅行は、公用車を使用して、会社見学、食事会を行った。生活介護のバス旅行は、公用車を使用して近場に行き、食事会を行った。利用者さんには大変好評だった。

2. 理事長の主な行動

(1) 情報交換・情報発信

- ① 総合施設長・総務部長、生産事業部長と毎週1回2時間程度のミーティングを行っている。行動予定、懸案事項の確認、その他情報交換は、意思統一が図れ有効に機能している。
- ② 毎月1日発信の理事長通信は、令和6年3月で40回となった。ビジネス講座を取り入れるようにしている。
- ③ 令和3年8月に、理事長、総合施設長、総務部長、コスモス学園中沼ジョブセンター(以下、「中沼ジョブセンター」という)所長・生産事業部長の5名で、「生産事業部将来検討会」を立ち上げ、今後のプラスチック事業の在り方を検討した。途中から、「中沼ジョブセンター将来検討会」とし内容を広げ、プラスチック事業を含めた中沼ジョブセンター全体の在り方と、その将来に向けた方向性を議論している。次年度も継続する。
- ④ 昨年10月、職員5名と面談した。これで、管理職から一般職までの主な面談が終了した。次年度以降も計画し、職員の声を積極的に吸収し、法人の運営に生かしたい。
- ⑤ 理事会で審議の後、「法人の将来について」の意見交換を行う時間を設けた。テーマを、一回目「後継者問題」、二回目三回目を「財政について」として議論し、理事・監事の意見を汲み取っている。次年度も新たなテーマで継続する。

(2) 中・長期対策

- ① 設備の老朽化対策
コスモス学園松田センター(以下、「松田センター」という)外壁塗装4,323千円、車両入替2,985千円 計7,308千円 照明器具LED化で中沼ジョブセンター2,765千円、コスモス学園中沼ケアセンター(以下、「中沼ケアセンター」という)1,500千円その他備品等を合わせ、総額12,305千円の老朽化対策を講じ、自己資金で対応した。次年度も、同様の対応予定である。
- ② 不稼働資産対応
特に進展は無かった。
- ③ 後継者問題
常に、法人全体の大きなリスクとして意識をもって行動した。地元企業に対し、人材の紹介を依頼した。職員教育を初めとし、新規・中途採用、正職員への登用等すべてを関連した問題として捉えている。

3 法人の運営方針

(1) サービスの質の向上

① 就労移行支援・就労継続支援B型

ア 受注・就職状況

- ・受注・工賃とも、中沼ジョブセンターは増加したが、松田センターは減少した。
- ・中沼ジョブセンター就労移行支援から1名、同じく就労継続支援B型から1名就職した。さらに2名が就職に向けた準備をしている。

イ プラスチック成形

- ・昨年倒産したZ社の処理は終了した。後継のM社は、前年比20%の売上を達成し、順調に推移している。
- ・昨年6月、成形機を7台から6台へ1台減とした。効率化努力により、特に生産に支障なく対応できている。

② 生活介護

利用者の意思決定に基づいた支援に努めた。セラピー犬とストレッチ研修、地域ボランティアとの交流を再開した。

③ 共同生活援助(グループホーム)

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に取り組んだ。地域の防災訓練、清掃活動に参加した。

④ 居宅介護(ヘルパー)

従来どおり、感染症対策を十分取りながら継続的に実施した。

⑤ 相談支援

一部対面による相談支援を再開した。

(2) 職員の教育・育成

① 資格取得について

2名が、実務者研修を経て介護福祉士の資格を取得した。

② 採用活動

従来どおり、学校訪問、事業所説明会、インターンシップ等をきめ細かく実施した。求人広告媒体による公募を積極的に行った。

③ 後継者の育成

研修の受講や、日々のOJT等により、次の管理者を育成する取組をしてきた。今後も継続する。

④ 職員のメンタルヘルス

メンタル不調の職員はいなかった。
今後とも、定期的なメンタルヘルスチェックを行い、早めの気づき、早めの対応につなげる。
何より、風通しの良い職場環境を維持することが、一番必要なことである。

(3) 法人の社会的責任の遂行

- ① 中沼ジョブセンターは、昨年に引き続き、2月14日に山北町川村小学校でロケットの組み立て・打ち上げ教室を実施した。利用者さん5名も参加し、地域貢献を果たした。
- ② 3月25日に南足柄市と、「カーボンニュートラル・パートナーシップ協定」を締結した。温室効果ガス削減に向け、当法人として、できることを考え実行し、社会的責任を果たしていきたい。

(4) 地域における公益的な取り組み

災害対応訓練(中沼3回、松田3回実施)、権利擁護支援(KWネット)、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業に参加し、行政や他の福祉施設、医療機関等との連携、協働を図った。

(5) 法令順守

- ① 幹部職員との定例ミーティングにより、情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理を行い、働き方改革に対応した。
- ② 役員の勉強会は、理事会の時間内で、自立支援給付費の仕組みについて勉強した。

(6) 財務安定化

- ① 老朽化対策については、この先10年を一つの目途とし、実施時期、金額、調達方法等を洗い出し共有した。
- ② 中沼ジョブセンターの照明器具LED化について、省エネお助け隊の診断受診、情報提供により、神奈川県省エネ補助金630千円を受給した。
- ③ 南足柄市より、新たに、行動障害者支援事業補助金3,114千円を受給した。同じく、重度重複障害者個別支援事業補助金について、従来3名だったのが6名となり、3,027千円を受給した。
- ④ 最低賃金の大幅上昇、更に、公共料金、食材、保険、修繕工事代等値上げの中、法人全体で、経費の削減や、計画の見直しに努めた。その結果、当期活動増減差額は、前年度より増加し黒字を確保できた。

令和5年度 決算報告

法人単位資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
収入			
就労支援事業収入	104,875,288	105,201,060	-325,772
障害福祉サービス等事業収入	478,179,000	483,736,357	-5,557,357
その他の事業収入	980,000	646,588	333,412
借入金利息補助金収入	768,000	768,000	0
経常経費寄附金収入	1,000,000	1,084,120	-84,120
受取利息配当金収入	59,000	60,429	-1,429
その他の収入	12,405,000	13,291,261	-886,261
事業活動収入計(1)	598,266,288	604,787,815	-6,521,527
支出			
人件費支出	340,810,390	338,258,318	2,552,072
事業費支出	69,743,083	66,507,316	3,235,767
事務費支出	47,196,152	44,093,794	3,102,358
就労支援事業支出	107,534,200	103,943,130	3,591,070
支払利息支出	2,612,000	2,610,329	1,671
その他の支出	9,630,000	9,283,980	346,020
事業活動支出計(2)	577,555,825	564,696,867	12,858,958
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	20,710,463	40,090,948	-19,380,485
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等補助金収入	11,672,000	12,302,000	-630,000
施設整備等収入計(4)	11,672,000	12,302,000	-630,000
支出			
設備資金借入金元金償還支出	29,808,000	29,808,000	0
固定資産取得支出	12,465,780	12,635,180	-169,400
施設整備等支出計(5)	42,273,780	42,443,180	-169,400
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-30,601,780	-30,141,180	-460,600
その他の活動による収支			
収入			
投資有価証券売却収入	5,000,000	5,000,000	0
固定資産売却収入	594,900	1,103,400	-508,500
その他の活動収入計(7)	5,594,900	6,103,400	-508,500
支出			
投資有価証券取得支出	3,600,000	3,600,000	0
固定資産支出	3,679,500	3,479,500	200,000
その他の活動支出計(8)	7,279,500	7,079,500	200,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,684,600	-976,100	-708,500
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-11,575,917	8,973,668	-20,549,585
前期末支払資金残高(12)	199,200,932	199,200,932	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	187,625,015	208,174,600	-20,549,585

法人単位事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
事業活動による収支			
収入			
就労支援事業収益	105,201,060	94,228,020	10,973,040
障害福祉サービス等事業収益	483,736,357	473,083,103	10,653,254
その他の事業収益	646,588	350,000	296,588
経常経費寄附金収益	1,084,120	1,044,400	39,720
サービス活動収益計(1)	590,668,125	568,705,523	21,962,602
費用			
人件費	340,067,418	332,235,413	7,832,005
事業費	66,507,316	60,725,442	5,781,874
事務費	44,093,794	40,421,869	3,671,925
就労支援事業費用	105,876,870	96,295,183	9,581,687
設備償却費	39,030,794	41,514,853	-2,484,059
国庫補助金等特別積立金取崩額	-21,687,946	-23,157,985	1,470,039
サービス活動費用計(2)	573,888,246	548,034,775	25,853,471
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	16,779,879	20,670,748	-3,890,869
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	16,779,879	20,670,748	-3,890,869
施設整備等による収支			
収入			
借入金利息補助金収益	768,000	934,000	-166,000
受取利息配当金収益	60,429	96,735	-36,306
投資有価証券売却益	189,923	0	189,923
その他のサービス活動外収益	13,291,261	15,415,175	-2,123,914
サービス活動外収益計(4)	14,309,613	16,445,910	-2,136,297
費用			
支払利息	2,610,329	3,012,094	-401,765
投資有価証券売却損	846	0	846
その他のサービス活動外費用	9,283,980	14,287,710	-5,003,730
サービス活動外費用計(5)	11,895,155	17,299,804	-5,404,649
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	2,414,458	-853,894	3,268,352
経常増減差額(7)=(3)+(6)	19,194,337	19,816,854	-622,517
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等補助金収益	12,302,000	12,872,000	-570,000
施設整備等寄附金収益	0	100,000	-100,000
固定資産売却益	400,000	0	400,000
固定資産売却益	0	384,999	-384,999
拠点区分間固定資産移管収益	0	3	-3
特別収益計(8)	12,702,000	13,357,002	-655,002
費用			
固定資産売却損・処分損	12	5,615,022	-5,615,010
国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	0	-3,832,744	3,832,744
国庫補助金等特別積立金積立額	12,302,000	12,872,000	-570,000
拠点区分間固定資産移管費用	0	3	-3
特別費用計(9)	12,302,012	14,654,281	-2,352,269
特別増減差額(10)=(8)-(9)	399,988	-1,297,279	1,697,267
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	19,594,325	18,519,575	1,074,750
繰越活動増減差額(12)	321,351,368	302,831,793	18,519,575
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	340,945,693	321,351,368	19,594,325
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	340,945,693	321,351,368	19,594,325

法人単位貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位: 円)

資産の部	当年度末	前年度末	増減	負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	272,632,061	261,407,309	11,224,752	流動負債	97,823,495	97,922,430	-98,935
現金預金	155,755,362	143,220,410	12,534,952	事業未払金	17,645,423	16,895,122	750,301
事業未収金	81,611,741	83,985,920	-2,374,179	1年以内返済予定設備資金借入金	28,278,000	29,808,000	-1,530,000
未収補助金	9,256,508	4,571,000	4,685,508	未払費用	32,469,785	33,073,628	-603,843
受取手形	15,910,067	18,573,240	-2,663,173	預り金	61,640	5,009,132	-4,947,492
商品・製品	3,265,486	3,006,227	259,259	職員預り金	7,486,977	857,850	6,629,127
原材料	1,605,480	1,488,720	116,760	前受収益	1,922,670	1,875,698	46,972
立替金	111,573	101,871	9,702	賞与引当金	9,959,000	10,403,000	-444,000
前払費用	5,090,344	6,441,571	-1,351,227	固定負債	188,661,000	214,562,900	-25,901,900
仮払金	25,500	18,350	7,150	設備資金借入金	155,232,000	183,510,000	-28,278,000
固定資産	519,919,390	546,936,598	-27,017,208	退職給付引当金	29,823,000	27,446,900	2,376,100
基本財産	363,710,994	388,678,473	-24,967,479	その他の固定負債	3,606,000	3,606,000	0
土地	100,430,000	100,100,000	330,000	負債の部合計	286,484,495	312,485,330	-26,000,835
建物	262,280,994	287,578,473	-25,297,479	純資産の部			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	基本金	86,385,879	86,385,879	0
その他の固定資産	156,208,396	158,258,125	-2,049,729	基本金	86,385,879	86,385,879	0
土地	40,319,868	40,319,868	0	国庫補助金等特別積立金	70,703,435	80,089,381	-9,385,946
建物	8,323,198	9,726,558	-1,403,360	国庫補助金等特別積立金	70,703,435	80,089,381	-9,385,946
構築物	7,424,938	9,586,248	-2,161,310	その他の積立金	8,031,949	8,031,949	0
機械及び装置	5,504,880	7,444,641	-1,939,761	施設整備等積立金	7,000,000	7,000,000	0
車輛運搬具	10,064,788	10,115,545	-50,757	工賃零動積立金(就労)	683,000	683,000	0
器具及び備品	10,348,780	7,859,646	2,489,134	設備等整備積立金(就労)	348,949	348,949	0
権利(償却)	472,533	635,745	-163,212	次期繰越活動増減差額	340,945,693	321,351,368	19,594,325
権利(非償却)	24,109,405	24,109,405	0	次期繰越活動増減差額	340,945,693	321,351,368	19,594,325
投資有価証券	5,639,077	6,850,000	-1,210,923	(うち当期活動増減差額)	19,594,325	18,519,575	1,074,750
退職給付引当資産	29,823,000	27,446,900	2,376,100				
施設整備等積立資産	7,000,000	7,000,000	0				
工賃零動積立資産(就労)	683,000	683,000	0				
設備等整備積立資産(就労)	348,949	348,949	0				
差入保証金	5,900,000	5,900,000	0				
その他の固定資産	245,980	231,620	14,360	純資産の部合計	506,066,956	495,858,577	10,208,379
資産の部合計	792,551,451	808,343,907	-15,792,456	負債及び純資産の部合計	792,551,451	808,343,907	-15,792,456

新利用者紹介



横田 匠海
中沼ジョブセンター
(就労継続支援B型)



石井 豪希
松田センター
(生活介護)

新しい仲間が
ふえました♪
見かけたら
声をかけてね♪



新職員紹介

毎日笑顔でがんばっています。
みなさまよろしくお願いします！



石内 陽子
中沼ジョブセンター



芹澤 富美子
中沼ケアセンター



山田 克江
中沼ケアセンター



向笠 浩二
松田センター



大島 治男
松田センター



丸島 八千代
松田センター



有野 努
松田センター
支援員

令和4年9月に入職し、現在は松田センター
就労継続支援B型にて支援させていただいて
おります。

昨年の暮れに夏までにかっこいい体を作ろう
とホームジムを作りまして、筋トレと同時にダイ
エットを開始し8か月で11キロ痩せることが出
来ました。目標体重まで4キロ足りませんでした
が小さな成功体験になりました。

また嬉しい事に、プールと一緒に遊びに行っ
た友達の子供が、夏休みの自由研究に筋トレを
選び、夏休みの間にどれだけ体が変わるか挑
戦しているそうで、どうやら私の影響もあるみ
たいです。

毎日仕事を通してたくさんの人と接していま
すが、私が思っている以上お互いの影響は
大きいかもしれません。私も利用者さんもお互
いにより良く成長できるよう頑張っていきたい
と思います。



坪内 悠
コスモスホーム
支援員

趣味に仕事にがんばっている
2人をご紹介します！

令和2年4月に入職し、中沼ケアセンターにて
支援員として勤務し、令和5年4月にコスモスホ
ームに異動となりました。コスモスホーム業務の
他、ヘルパー業務も行っています。難しいながら
も頑張っております。

私の家には、ウサギ3匹と猫3匹、柴犬1匹がい
ます。猫2匹はウサギのウサオがいるとビクビク
しており怖がっているようです。
ウサオは飼った当初は穏やかでしたが、兄が余計
なことを言ったので、ウサオは兄のことを敵と認
識したようで、兄を見るたび唸ったり噛みついた
りします。そのため私からでないご飯を食べませ
ん。

ウサオは男の子ですが、光り物や宝石などキラキ
ラしたものが好きなようで、自分の寝床で嬉しそ
うに眺めています。

柴犬のシバオは結構賢いようで散歩に行くとき
になるとリードを咬んで待っています。

これからも仕事に、ウサオたちのお世話に頑張
っていききたいと思っています。

ボランティア募集

活動や行事で利用者の皆さんと一
緒に参加していただいたり、お手
伝いをして下さる方を募集してい
ます。学生の方も歓迎いたします。

日中活動…散歩、作業補助、外出援
助、農園など
余暇活動支援…お話し相手、体操、文
化、芸術講師など

《お問い合わせは
0465(72)0880 まで》

善
意

(順不同・敬称略)

富士フイルム労働組合
イトーヨーカ堂労働組合
コスモス後援会
コスモス学園保護者会
齋能 まさ多 様
啓 巳 様

皆さまより多くのご寄附をいた
だきました。
この書面をお借りしましてお礼
申し上げます。

私たちは
1人ひとりの利用者が
1人の人として
“究極の幸せ”を
得られるよう支援します



社会福祉法人
足柄緑の会